

# KYT 危険予測トレーニング

## 第92回 歩行者がいる生活道路を走っている時(自転車編)

あなたは生活道路(自転車を除く一方通行路)を走っています。  
右側にある路地の前を直進するところです。  
安全に走行するには、どのようなことを予測する必要がありますか？



交通事故を回避するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を高めるための題材を提供します。今回は自転車利用者に、歩行者がいる生活道路を走っている時の危険について考えてもらうためのKYTです。

### 活用方法

1. 少人数のグループをつくります。
2. 「交通場面のイラスト」を見ながら、意見を出し合います。
3. その後、「解答・解説※」を参考にして、どんなことに気をつければ良いか再び話し合ってください。

※「解答・解説」と「交通場面のイラスト(カラー・A4版)」は下記SJホームページでご覧いただけます。またPDFファイルもダウンロード(無料)できます。

ホンダ SJ 検索

【使用上の注意】

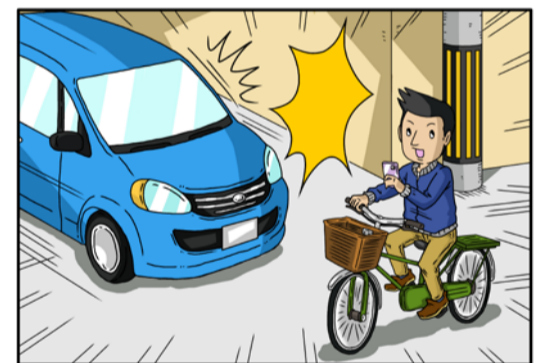
- 営利目的での利用はおやめください。
  - 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
  - その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。
- 本田技研工業(株) 安全運転普及本部  
TEL: 03(5412)1736 E-mail: sj-mail@spirit.honda.co.jp

© 本田技研工業(株)

# SJ クイズ ?

## 自転車編

- Q1** 2023年の自転車(第1当事者<sup>※1</sup>)の運転者が携帯電話等使用の状態であった場合の交通事故件数は139件でしたが、これは2014年の何倍でしょう？  
①約1.2倍 ②約1.5倍 ③約2倍 ※1 交通事故の当事者のうち、過失が最も重い者または過失が同程度の場合は被害が最も軽い者。
- Q2** 2024年11月1日から自転車運転中の「ながら運転(ながらスマホ)」に対する罰則が強化されました。「ながら運転」をした場合の罰則は次のうちどれでしょう？  
①5万円以下の罰金 ②6ヵ月以下の懲役または10万円以下の罰金 ③1年以下の懲役または30万円以下の罰金
- Q3** 2024年11月1日に施行された改正道路交通法では、自転車の「酒気帯び運転<sup>※2</sup>」が罰則の対象になりました。自転車が第1当事者となった交通事故(2014年から2023年の累計)において、自転車が酒気帯び運転をしていた場合の死亡・重傷事故率は飲酒していない場合の何倍でしょう？  
①約1.4倍 ②約1.9倍 ③約2.4倍 ※2 血液1mlにつき0.3mg以上または呼気1ℓにつき0.15mg以上のアルコールを身体に保有する状態で運転すること。



「解答」はP7下、「解説」は下記SJホームページでご覧いただけます。  
<https://www.honda.co.jp/safetyinfo/sj/>

### 動画「安全運転“虎の巻”」

初心者の方には新たな気づきを、  
ベテランの方には普段の運転を振り返るきっかけを

交通安全センターのインストラクターが安全運転の教育現場で日頃お客さまにお伝えしている大切なポイントを動画にまとめてホームページにて公開しました。

この動画は交通安全に関する知識を学ぶとともに、自らの運転を振り返り、意識や行動



の変容を促すことを目的としています。安全運転のためには、過去の経験を振り返り、自分を客観的に見つめ直すことで、自己理解を深めることが大切です。

「基礎知識編」「二輪編」「四輪編(2025年春公開予定)」に分かれていますので、興味のある動画からご覧いただき、ご自身の安全運転への理解を深めることにご活用ください。



「安全運転“虎の巻”」へのアクセスはこちらから  
[https://global.honda.jp/safetyinfo/SRSD\\_movie/](https://global.honda.jp/safetyinfo/SRSD_movie/)

### SJ 編集部だより

～交通事故死者ゼロを目指して～

2023年4月に、すべての自転車利用者に乗車用ヘルメットの着用が努力義務となった。警察庁の自転車乗車用ヘルメット着用率調査(2024年7月実施)によると、全国平均は17.0%と、自転車利用者にヘルメットの着用が浸透しているとは言い難い状況である。

P6で紹介した警視庁・交通安全啓発映像「ヘルメットに救われた命」では、自転車乗車中に交通事故に遭ってしまったAさんが、ヘルメットを着用していたことで命が救われた体験を赤裸々に語っている。映像の中で「(クルマと衝突して)身体が2、3回転している時に、このまま自分は死ぬだろう

と意思した」と回想するAさん。クルマと衝突後も意識を失うことはなかった。事故現場に急行した警察官は「(事故後に)意識があったことに驚きました。ヘルメットをかぶっていたから命が助かったのだと思います」と話す。

この啓発映像を視聴すると、ヘルメットを着用して頭部を保護することが、いかに大切か伝わってくる。警視庁公式YouTubeチャンネルで公開されているので、東京都以外の交通安全指導者の皆さまも一度ご覧いただき、ヘルメットをかぶるきっかけにしてほしいというAさんの想いを多くの自転車利用者に届けてほしい。